

東信州DX大学 研修③

講座 情報セキュリティ



長野県中小企業振興センターと長野県テクノ財団が合併して発足した、公益財団法人長野県産業振興機構にて産業DXコーディネーター（非常勤）、長野県安曇野市スマート自治体推進アドバイザー（非常勤）として活動。情報処理安全確保支援士（登録第000554号）他、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）セキュリティプレゼンターとしても活動。

講師：西村 元男 氏（デジタルデマンド株式会社 代表取締役社長）

水曜日

13:30～16:30

第1回

11/15

第2回

11/29

第3回

12/13

第4回

12/27

第5回

1/31

- 会場 AREC会議室（信州大学繊維学部内）
- 定員 30名 *定員になり次第締め切らせていただきます
- 対象者 中小企業の情報システムを担当する中堅・リーダー・担当者等
- 受講料 AREC・Fi iプラザ会員 11,000円（税込） / 非会員 22,000円（税込）
- 備考 各回通して同じ方のご参加をお願いいたします。
- 主催 一般財団法人浅間リサーチエクステンションセンター（AREC）
東信州次世代産業振興協議会（事務局：上田市）
上田信用金庫
- 申込 申込フォームよりお申込みください。 ※申込締切：11月1日（水）
<https://forms.gle/JyZohYdbLmr1D45S8>

申込QRコード



この講座では、中小企業の皆様に向けて、**現代のサイバーセキュリティにおける重要な知識と実践的な対策手法**を提供します。

また、**具体的なケーススタディや実践演習**を通じて、参加者の方々が**自社の情報システムを保護するための能力を高めること**を目指します。

(独法) 情報処理推進機構のセキュリティ対策の考え方に基づき、実際の被害事例等を踏まえた現状理解(座学)と通信検査キットによる脅威のある通信の可視化を含む「セキュリティ分析」及び対策の立案(実践)を組み合わせた実用的な講座

第1回 2023年(令和5年)11月15日(水) 13:30~16:30
「サイバーセキュリティの現状」

- ・国内で実際に発生したサイバー攻撃と被害事例を通して、攻撃手法とその影響を理解します。
- ・デモンストレーション等により、悪意ある行動者がどのようにシステムに侵入し、情報資産を盗み出すか理解します。

第2回 2023年(令和5年)11月29日(水) 13:30~16:30
「サイバーセキュリティの考え方」

- ・サイバーセキュリティの基本的な考え方を踏まえ、組織として計画的・戦略的に取り組むための手法を学びます。
- ・中小企業の実際の社内システム・体制等を例に、リスクの存在と優先順位の付け方といったリスク管理の考え方を学びます。

第3回 2023年(令和5年)12月13日(水) 13:30~16:30
「自社セキュリティ分析」(通信検査キットのハンズオン含む、宿題有)

- ・普段見ることができない社内外との情報通信について通信検査キット等を用いて脅威の有無やリスクの度合いを可視化します。
- ・一般的なフレームワーク等を用いて、自社のセキュリティ対策を分析し、可視化します。

第4回 2023年(令和5年)12月27日(水) 13:30~16:30
「通信検査結果の評価」

- ・通信検査の結果を踏まえ、自社の脅威の有無やリスクの度合いを評価します。
- ・自社のセキュリティ対策の分析結果を踏まえ、必要な対策をパターン別に解説します。

第5回 2024年(令和6年)1月31日(水) 13:30~16:30
「必要な対策の立案」

- ・セキュリティ対策の計画立案・実施手順等について事例を学びます。
- ・通信検査結果等を踏まえ、セキュリティ対策の導入計画や予算編成、人材教育・訓練について盛り込んだ、自社に適したセキュリティ対策の計画書を作成します。

講義形式



講義、ディスカッション、グループ演習、デモンストレーションなどを組み合わせて行います。

講座の特徴



- ・中小企業の情報システムを担当する方々にとって、サイバーセキュリティの重要性を深く理解し、実践的な対策手法を身に付けることができます。
- ・サイバー攻撃の事例やデモンストレーションを通じて、攻撃手法や脅威をリアルに体験することで、セキュリティ意識を高めます。
- ・自社の情報システムに対する脅威やリスクを知り、リスク管理の考え方を踏まえて、セキュリティ対策の優先順位を付ける能力を身に付けます。
- ・セキュリティ対策計画の立案や導入計画の作成方法を学び、参加者の方々が自社に適したセキュリティ対策のロードマップを作成することができます。
- ・参加者同士の情報共有やディスカッションを通じて、ネットワーキングの機会を提供し、業界のベストプラクティスを学び合うことができます。

詳細はホームページをご覧ください。>>>

